

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-40 °C ~ +85 °C(90 %RH以下)	保存温度範囲	-40 °C ~ +85 °C(90 %RH以下)	
	電 力	-- W	特性インピーダンス	75 Ω (0 ~ 12 GHz)	
	特 殊 性	----	使用ケーブル	----	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表 示	目視にて確認する。		○	○
電気的性能	接 触 抵 抗	100 mA(DC or 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト 8 mΩ 以下 外部コンタクト 8 mΩ 以下	○ ○	○ ○
	絶 縁 抵 抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ 以上	○	○
	耐 電 圧	AC 500 Vの電圧を 1 分間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)	せん絡, 絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比 (反射損失)	周波数 0 ~ 3 GHzにて測定する。	VSWR 1.29 以下 (18 dB 以上)	○	—
		周波数 3 ~ 12 GHzにて測定する。	VSWR 1.43 以下 (15 dB 以上)	○	—
	挿 入 損 失	周波数 -- ~ -- GHzにて測定する。	--- dB以下	—	—
機械的性能	単 体 挿 抜 力	φ 1.32 ⁺⁰ _{-0.005} の鋼製ピンで測定する。	挿入力 --- N以下 引抜力 0.6 N以上	— ○	— —
	総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。	挿入力 --- N以下 引抜力 --- N以上	— —	— —
	繰 り 返 し 動 作	5000 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 中心コンタクト 12 mΩ 以下 外部コンタクト 12 mΩ 以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 衝 撃 性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
	ケーブルクランプ部の 引 張 り 強 度	--mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が 発生するまで引張り、最大荷重を確認する。	最大荷重 -- N以上	—	—
環境的性能	温湿度サイクルの 耐 湿 性	温度 +25 ~ +65 °C, 湿度 90 ~ 96 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	① 縁抵抗: 100 MΩ 以上(高湿時) ② 縁抵抗: 1000 MΩ 以上(乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度 サイクル	温度 -40 → - → +85 → - °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	VSWR 1.29 以下(周波数 0 ~ 3 GHz) VSWR 1.43 以下(周波数 3 ~ 12 GHz)	○	—
	は ん だ 耐 熱 性	プリヒート 100°C以下, 2分以内。 こて先温度 380°C以下, 5秒以内 (手半田)。 半田温度 245°C以下, 5秒以内 (フロー)。	VSWR 1.29 以下(周波数 0 ~ 3 GHz) VSWR 1.43 以下(周波数 3 ~ 12 GHz)	○	—
△	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
0					
備考 RoHS適合品			承 認	TO. KATAYAMA	17.09.04
			検 図	TO. KATAYAMA	17.09.04
			担 当	MA. SAEKI	17.09.04
			製 図	MA. SAEKI	17.09.04
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図 番	SLC-375905-00-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	BNC(75)-PLR-PC-12G-2	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL302-0085-0-00	△ 1/1